



# かぶとむし

## 丹波地方災害ボランティア

### 第一回(9月27日)

生徒会会計長 K N

実際行ってみて驚きました。コンクリートで出来た道が見えない程土砂がおしよせていました。

山から多くの太い木も土砂と共に流されていきました。土砂、岩、大木を取り除いていくと道も見え、水路も姿を現しました。

今回のボランティアで助け合いの精神を学び、生徒会メンバーの絆もより深まったと思います。今回の経験を活かし、今後の生徒会活動も頑張っていきたいです。

生徒会体育総務 K Y

ボランティアの話聞き良い機会なので行こうと思いました。集合場所に行っても思ったのは、人が多いということでした。

しかし、現地についてみると災害の規模の大きさをみて、この人数では足りないと思いました。自分達の行く前も多くの人がボランティア活動をしたおかげで、自分達がボランティアを行えると思えました。活動はともしんどかったです。

これからもっとボランティアの人が増えればいいなと思います。とてもやりがいのある作業だったので行って良かったと思いました。

生徒会体育副総務 R F

9月13日に生徒会で丹波土砂災害ボランティアに行きました。行くときは、頑張ろう、不安だな、などの色々な気持ちがありました。丹波地方に行くと、堅苦しくない雰囲気だったのでとても気持ちよく作業ができました。

丹波地方の方々にも感謝していただき、嬉しい気持ちで西宮に戻ってくる事ができました。また、機会があれば行きたいと思えます。

### 第二回(10月25日)

生徒会副会長 H Y

前回のボランティアより過酷な作業が多くとても大変でした。鶏小屋の横の土砂をどかしたり、溝を作ったり前回とは違う作業をしました。

住民の方々にもとても感謝していただきボランティアに行つてよかったですと思いました。

2年3組 Y H

今回は初めてこのボランティアに参加させてもらって、行くまで水泳部で女子が1人だし不安がたくさんあったけど、当日は他校の人たちと頑張れました。大人の人とコミュニケーションを取りながらいろんな人と関わってみんなら丹波の復興のために頑張れたことがすごく自分にとってプラスになり、いい経験になりました。

3年4組 Y F

僕は今回のボランティアの話聞くまで丹波が土砂崩れの被害に遭っていたことを知りませんでした。被害の話を聞いてそこまで酷い状況になっていないだろうと思っていました。現地に着くと僕の予想とは裏腹にかなり酷い状況でした。鶏舎が土砂で30センチ程埋もれており、その土砂を撤去する作業を行っている時に水分を多く含んでいたためぬかるんでいて力が入りませんでした。

作業が終わった後に土砂災害の被害について話を聞きましたが、被害状況はとても酷く停電などの生活に支障をきたすものばかりでした。今回のボランティアを通して「助け合い」を学びました。またこのようなボランティアに参加しようと思いました。

# かぶとむし

第2号



平成26年11月26日(水)

第33期生徒会執行部

## 体育大会を終えて

生徒会体育総務 R T

体育総務という事もあり、体育大会では前に出て話すことが多くて緊張しました。一番緊張したのが、ラジオ体操の時朝礼台の上立って指揮し、大きな声を出したことでした。でも、やっているうちにだんだん楽しくなっていたのでやって良かったです。ほかの生徒会の活動は部活行進と対抗リレーで出来ませんが、みんなが頑張ってくれていたのが良かったです。体育大会が無事に終わって良かったと思います。

生徒会体育副総務 R T

第31回体育大会を終えて。

今年初めてのチアも、成功するか分からない状況でも不安がありました。当日は大きな失敗もなく、三年生の先輩方に喜んでもらえてとても嬉しく達成感がありました。体育副総務としての仕事も失敗なくやり遂げられてよかったです。体育大会で失敗したことをこれからの活動に活かし、成功したことをこれからの励みに頑張っていきたいです。

佐山先生からの感想

雨の影響でプログラムの変更があったにも関わらず、状況に応じた動きが出来ていたと思います。学年種目、ソーランなど、さすが3年生だなという場面が多くみられました。前日にどのクラブも一生懸命練習していた行進がなくなってしまうのが残念でした。



教育総合類型2年生から

体育大会で園児と一緒にアルゴリズム体操ができると聞き楽しみにしていました。園児が一生懸命に踊っている姿がとてもかわいく癒されました。また来年もこのような取り組みが出来たらいいなと楽しみにしています。